

Ⅶ 異動届出書の記入例（新事業所で特別徴収を継続する場合）

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度		
練馬区長 殿 令和〇〇年〇〇月〇〇日提出	給与支払者	所在地	〒123-4567 東京都〇〇区××1-2-3				
		フリガナ	マルバツショウジカブシキガイシャ				
		氏名または名称	〇×商事株式会社				
		個人番号 または法人番号	11111111111111111111				
特別徴収義務者 指定番号			0060000000		宛名番号 1		
担連当者先	所属 氏名	〇〇課〇〇係 練馬 花子		電話 00-0000-0000 内線(111)			
フリガナ	ネリマイチロウ	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法
氏名	練馬 一郎	84,000	6月	9月	6年	2	1. 特別徴収継続
生年月日	昭和55年5月5日		8月	5月	8月	31日	2. 一括徴収
個人番号	22222222222222		21,000	63,000			3. 普通徴収 (本人納付)
受給者番号	0123456789						
1月1日現在の住所	練馬区〇〇4-5-6						
異動後の住所	〇〇区〇〇1-1-1						
1. 特別徴収継続の場合		特別徴収義務者 指定番号	0067890128 (新規)	法人番号	33333333333333	新しい勤務先へは、月割額	7,000 円を
2. 一括徴収の場合		理由	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
3. 普通徴収の場合		理由	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与または退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため		※区記入欄		
1. 特別徴収義務者 フリガナ		所在地	〒789-1234 東京都〇〇区△△3-2-1		担当者 フリガナ	〇〇課〇〇係 特徴 太郎	
1. 特別徴収義務者 氏名または名称		フリガナ	マルバツフドウサンカブシキガイシャ		担当者 氏名	特徴 太郎	
1. 特別徴収義務者 氏名または名称		フリガナ	マルバツフドウサンカブシキガイシャ		担当者 電話	11-1111-1111 内線(222)	
1. 特別徴収義務者 受給者番号		受給者番号	9876543210		納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	1 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要	

税額通知書の受給者番号を記入してください。

税額通知書の住所を記入してください。

税額通知書の特別徴収税額を記入してください。

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか合計額を記入してください。

(ア)の特別徴収税額から(イ)の徴収済額を差し引いた額を記入してください。

税額通知書の特別徴収義務者指定番号と宛名番号を記入してください。

異動届出書の内容について応答できる方の氏名・連絡先を記入してください。

1を記入してください。

2または6を記入してください。

退職・転勤等の異動が生じた年月日を記入してください。

何月分から徴収するのか記入してください。

赤枠内は新事業所の情報を記入してください。